

仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業／協働事業助成

令和4年度活動報告・令和5年度活動中間報告



井土町内会
井土実行組合

《東日本大震災前後の世帯数と人口の変化》

102
世帯374
名11
世帯21
名

- 世帯数の激減により、一度は町内会の解散を決意したものの、現地再建を果たした世帯もあり、**2017年に町内会活動を再開**。
- 2021年7月には「**井土まちづくり推進委員会**」が設立。
- 2021年度「仙台市地域づくりパートナープロジェクト」に採択。

▶▶▶ 大震災から10年を経て、「**今一度、井土のまちづくりを積極的に考えていこう**」という機運が高まっている

居住者が激減した若林区井土地区において

「ふるさとに関わり続ける」ための仕組みをつくる

〈全体の目標〉

【令和3年度】

地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証



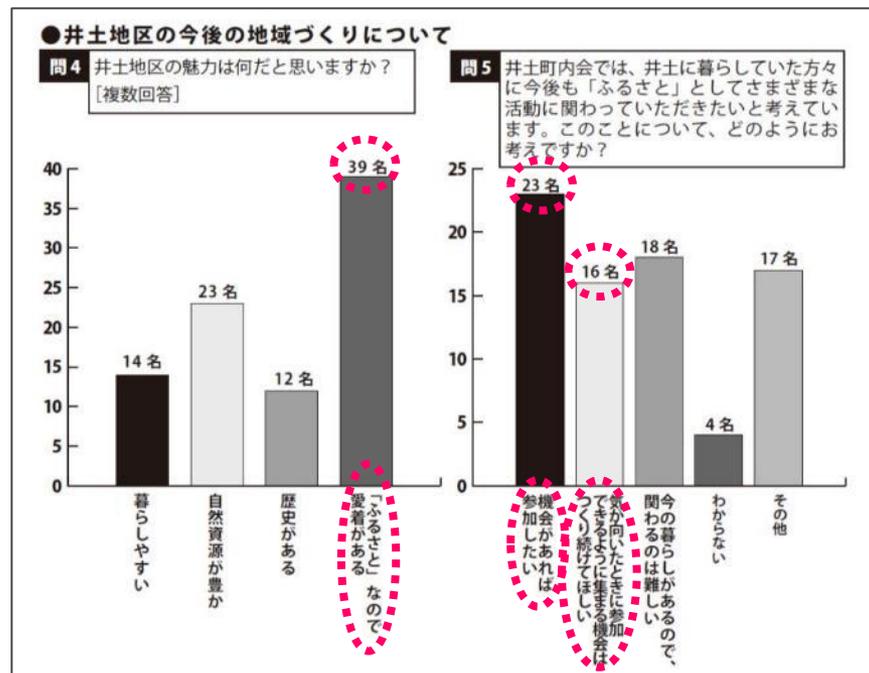
【令和4年度】

ふるさとを整える

— 地域資源活用を軸にした地域の継承 —

住民が主体性を持って井土を『ふるさと』として継承していくための仕組みをつくる

- (ア) 多世代が集まれる場づくり
- (イ) 固有の資源を内外に発信するための魅力づくり
- (ウ) ふるさとに通うきっかけづくり



テーマ	イベント名	開催日時	協力者	参加者数
多世代が集まれる場づくり	第1回井土プチマルシェ	2022年 11月19日(土) 10時～13時	農事組合法人井土生産組合 北杜興業株式会社 株式会社みちさき 海楽寺 長稱寺 マートル 元・東六郷小おやじの会 かあちゃんず 一般社団法人 ReRoots NPO法人冒険あそび場-せんがい・みやぎネットワーク 暮らしの採集室 荒浜のめぐみキッチン	約300名
	第2回 井土自然環境学習会 「井土の湿地帯にヨシとカニを見に行こう！」	2022年 9月11日(日) 10時～12時	東北大学 占部城太郎氏 東北大学 柚原剛氏 北の里浜 花のかけはしネットワーク NPO法人冒険あそび場-せんがい・みやぎネットワーク	60名
	第3回 井土自然環境学習会 「イナゴとり」	2022年 10月11日(火) 10時～12時	NPO法人冒険あそび場-せんがい・みやぎネットワーク	25名
	第4回 井土自然環境学習会 「むかっち博士とつくる『井土の押し花・押し葉ポストカード』」	2023年 2月18日(土) 10時～12時	むかい*いきもの研究所 向井康夫氏	13名
ふるさとに通うきっかけづくり	井土クリーン作戦	2022年 5月11日(水) 6月11日(土) 7月11日(月) 8月11日(祝・木) 9月11日(日) 10月11日(火) 11月11日(金) 12月11日(日)	北杜興業株式会社	各回 20～30名程度
		2023年 1月11日(水) 2月11日(祝・土) 3月11日(土)		
地区内外への情報発信	井土まちづくりレポート (第6号～第10号)	奇数月に発行		各500部発行

11月19日（土）に開催「第1回井土プチマルシェ」



たくさんの団体がマルシェ運営に協力することで、地域づくりを応援して下さった

11月19日（土）に開催「第1回井土プチマルシェ」



「年に一度でもいいから、住民同士で集まる機会がほしい」という目標は達成できた

2022年9月
「ヨシとカニ」

×環境系NPO・東北大学



2022年10月
「イナゴ取り」

×海岸公園冒険広場



2023年2月
「押し花WS」

×農学博士（向井康夫さん）



沿岸部と集落それぞれの自然環境の特性を捉えながら、
専門家と連携した魅力の発信に取り組むことができた

月命日に開催「井土クリーン作戦」



平日でも参加者は30名を超え、地区外からも駆けつけてくださる方も多い
(= 井土地区に月に一度通うきっかけになっている)

収入の部	収入科目	収入額
	仙台市助成額	543,000円
	団体自己資金	55,489円
	自然環境学習会開催による収入	5,000円
		円
		円
	合計	603,489円

支出の部	支出科目		支出額	
	助成対象経費	人件費		62,000円
		報償費		100,700円
		旅費		0円
		消耗品費		31,440円
		印刷製本費		78,505円
		通信運搬費		80,890円
		使用料及び賃借料		43,850円
		施設等の整備費※		0円
		設備備品購入費※		0円
		その他の経費		206,104円
		小計	①	603,489円
	助成対象外経費	②	0円	
	合計 (①+②)		603,489円	

【令和4年度の取り組みを振り返って】

井土の地域資源を活かしながら、さまざまな形での「交流」の場面をつくることができた。

井土をふるさとにする住民に「参加する」「関わる」という雰囲気が出てきた。



地区外の市民も井土でのさまざまな活動を意識するようになってきた。

⇒令和4年度だけでも「河北新報」「仙台放送」「朝日新聞」「共同通信」が取材

井土の自然資源が、だんだんと認識されるようになってきた。

⇒プチマルシェでの来場者コメントでも、資源活用に期待する声が寄せられた

令和4年度は9つの取材記事の発信があった

⇒広く発信されたことが、住民の誇りにつながった

井土に再びにぎわいを



震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

地元野菜販売 交流の場にも



震災前の地域の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

会場には特産の「井土ねぎ」や大根、リンゴを販売するブースが並び、家族連れなどが地元産の新鮮な野菜を買い求めた。焼きそばの振る舞いや新米が当たるビンゴ大会もあった。井土地区に住む知人に会いに来たという太白区の市職員飯田雄一さん(57)は「大きく人たちの顔張りを感ずる」と話した。

「井土恵い出屋台」と題し、震災前の地域の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

歴史を記録するブースもあり、地域住民らにきわめた。自身が震災直後、震災後は高城野区で暮らす丹野強さん(80)は近づくを流れる井土浦川の写真を眺め、「子どもを釣っていたと懐かしんだ。

震災前に「O3」あった地区の世帯数は、現在12まで激減した。多くの住民が内陸部に移り住み、地域交流が希薄になっている。

元住民や井土町内会など、推進委員会を特定させた。毎月1日は、清掃活動などに取り組んでいる。プチマルシェは、農産物が盛んな地域性を、収穫祭も兼ねて伝えようとしている。

推進委員の三浦委員長(61)は「井土学区民運動会や祭りが盛んで、人のつながりが強い地域だった。プチマルシェの継続やさまざまな活動を通じ、井土を次の世代に伝えていきたい」と話す。

津波被害の空き地でプチマルシェ 仙台

東日本大震災で津波被害を受けた仙台市若林区の井土地区を盛り上げようと、地元町内会などが19日、住宅跡の空き地を会場に地元の農産物を販売するイベント「井土プチマルシェ」を初めて開いた。関係者は「多世代が集まる機会を増やし、地域のにぎわいを取り戻したい」と期待を寄せる。



東日本大震災で被災した仙台市若林区井土地区の井土地区を盛り上げようと、地元町内会などが19日、住宅跡の空き地を会場に地元の農産物を販売するイベント「井土プチマルシェ」を初めて開いた。関係者は「多世代が集まる機会を増やし、地域のにぎわいを取り戻したい」と期待を寄せる。



井土まちづくり推進委員会(仙台市若林区)



井土地区のまちづくり推進委員会

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者



井土地区のまちづくり推進委員会

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者



井土地区のまちづくり推進委員会

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者



井土地区のまちづくり推進委員会

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

地域資源生かし継承

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

井土地区のまちづくり推進委員会(井土まちづくり推進委員会)は、震災前の井土地区の地図や写真を前に、思い出を語る来場者

〈全体の目標〉

居住者が激減した若林区井土地区において
「ふるさとに関わり続ける」ための仕組みをつくる

【令和3年度】

地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証

【令和4年度】

ふるさとを整える－地域資源活用を軸にした地域の継承－



【令和5年度】

ふるさとを支える

－地域資源を活かした機会の創出による持続的な交流の場づくり－

- ①集まる機会の定着化
- ②地域資源の積極的活用
- ③地区内外への情報発信

8月11日（金）開催「第2回井土プチマルシェ」



10月28日（土）開催「第3回井土プチマルシェ」

第3回

井土

プチマルシェ

2023年
10月28日(土)
10~13時

(会場)井土地区内広場
仙台市若林区井土宅地33

(主催) 井土町内会、井土まちづくり推進委員会、井土実行委員会
(特別協賛) 農事総合法人井土生産組合、北社興業株式会社、株式会社みちさき
(協力) 海蔵寺、長福寺、六郷南區家親組合、元・東六郷小中やじの会、一般社団法人 ReRoots、
NPO 法人冒險あそび場-せんだい・みやぎネットワーク、むかい＊いきもの研究所、仙台インパロGRESS (せんだいメディアテーク)、
荒浜のめぐみキッチン、NPO さらさら発電・市民共発電所、東北芸術工科大学デザイン工学部企画展協賛和田澤ゼミ (協賛)
(助成) 令和5年度仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業

いよいよ「収穫の秋」が到来！
ここにしかない秋の魅力を、井土プチマルシェでぜひ見つけてください！

新鮮！採れたて屋台
〈沿岸地域の生産者の皆さん〉
井土といえば「収穫の秋」が大本番！
名産品「井土ねぎ」をはじめ、今年の新米や
採れたての新野菜・果物が並びます。

押し花屋台
〈むかい＊いきもの研究所〉
井土地区に生えている秋の草花でつくった
「押し花」でオリジナルのバッジを作ります。
生き物や植物に詳しいむかわっち博士
(農学博士の向井康夫さん)の解説つきです！
◎参加費：300円 ◎定員数 ◎材料がなくなり次第、終了

子どもの遊び場屋台
〈海蔵寺〉
〈NPO 法人冒險あそび場-せんだい・みやぎネットワーク〉
プチマルシェに出張！
井土かたらいスペース
お茶飲み、おしゃべり、情報交換の場として
井土公会堂で行われている「井土かたらいスペース」
が出張出店！ゆっくりとお過ごしください。
手作り小物ワークショップも開催します
(参加費100~400円程度)。

11時～
〈「ピンゴ大会」開催！〉
新米をはじめ、お得な商品が当たる
ピンゴ大会を開催します！
※「ピンゴ大会参加券」は当日受付にて
配布します(なくなり次第終了)

井土なんだりかんだり屋台
〈荒浜のめぐみキッチン〉
昔のまち並みや地域資源等、井土に関する話題を
「なんだりかんだり(おれこれ)」語ります。

井土竹工作屋台
〈建築ガウナーズ〉
空間デザインや什器制作を行う
3人組ユニット「建築ガウナーズ」
と、井土に生えている竹を材料に
した工作してみましょう。
◎参加費：無料 ◎定員数 ◎材料がなくなり次第、終了
※小学生以下のお子さんは保護者のかたとご参加ください

おもいで聴き描き屋台
〈東北芸術工科大学企画展協賛・田澤ゼミ〉
おはなししながら井土での思い出を形にしませんか？
東北芸術工科大学の学生たちが、あなたの思い出を
その場でイラストにおこします。イラストはその場で
プレゼント！ぜひみなさんのお話を聴かせてください！
◎参加費：無料 ◎紙でも大歓迎！ ◎後日のお楽しみあり

気候危機！G&A屋台
〈NPO さらさら発電・市民共発電所〉

〈まちづくり活動の紹介〉
井土地区が2021年から
取り組んできたまちづくり活動や、
現在作成中の「まちづくり計画案」
を紹介し、
元「東六郷小おやじの会」による、
特製カレーが久しぶりに登場！
ぜひご賞味ください。
【数量限定です！】

会場マップ

井土生産組合
マルシェ会場
井土駅
井土遊遊ビル

〈ご会場にあたって〉
●現金のみご利用になります。小銭のご準備にご協力ください。
●感染予防対策や体調管理等に気を付けてご参加ください。

(お問合せ)
井土町内会
■電話：080-1670-1575 (大友)
■メール：ido9840842@gmail.com

(最新情報はこちらから)
井土まちづくり情報局
https://note.com/ido9840842/

井土クリーン作戦 の継続



自然環境学習会 の開催



「井土まちづくり レポート」の発行

9840842

井土
まちづくり
レポート
第12号

6月3日開催
第2回
井土のこれから
大会議

井土の課題あれこれ、 自分たちでできることは？



6月3日(土)、第2回「井土のこれから大会議」を第六郷コミュニティセンターで開催しました。第1回の大会議(4月15日開催)にて出された、「課題でもあるけれど、解決の道もあるのでは」という議題について、テーブルごとにディスカッションを行いました。前回出たアイデアを膨らませながら、「実現できそうなこと」、さらに「自分たちで取り組めそうなこと」について、洗い出してみました。今回の議論を踏まえて、井土町内会と井土まちづくり推進委員会で「まちづくり計画」の案を作成する予定です。「第2回井土ブツマルシェ」にて進捗をご報告したいと考えています。当日のディスカッションは次ページにて整理しておりますので、ぜひご覧ください。

※記録係として一般社団法人 Robots の様さん、そして仙台高等専門学校総合工学科建築デザインコースの菊池隆志先生とゼミ生が参加してくださり、大変助かりました。ありがとうございました！

●発行・編集：井土町内会、井土まちづくり推進委員会 (ido9840842@gmail.com) ●2023年7月発行

外部団体や関心を寄せる第三者との連携は、
これまでの活動によって蓄積されてきた貴重な財産

来年度以降の継続性も具体的に検討しながら、
今年度の後半の取り組みにも力を入れていきたい